

# つくしだより



東京都精神保健福祉家族会連合会  
(東京つくし会)  
〒156-0056 世田谷区八幡山  
3-33-1 林マンション301  
TEL/FAX:03-3304-1108  
<http://www.tsukushi.sakura.ne.jp/>  
発行者 眞壁 博美  
2019.9.15 第350号

令和元年 9 月号

東京都の来年度予算編成に向けての  
都との懇談会が行われました！  
精神障がい者への福祉手当支給につ  
いて極めて消極的な回答

都連副会長 植松 和光

8月26日(月)午前10時から東  
京つくし会と福祉保健局、産業労働  
局、住宅政策本部との懇談会を持ち  
ました。この懇談会に都内23地域、  
病院家族会から24名もの会員が参  
加しました。東京都からは、関係課  
の課長代理の方が出席しました。

当日は残暑の厳しい中、午前9時  
30分の集合にも関わらず、待ち合わ  
せ場所の都庁のロビーに次から次へ  
と集まってきました。都庁は入室受  
付をしないと中に入れませんか、  
とても大変です。



さて、既に、7月11日に東京都に

は私たちの要望書を提出してありま  
したので、各局からの回答を聞きま  
した。今回は、福祉手当の回答と参  
加された皆さんからの声をお知らせ  
します。

三つの重点項目の一つ  
福祉手当を精神障害者にも支給して  
くださいに 回答

東京都では自立支援医療(精神通  
院医療)の1割自己負担分を通院医  
療費助成として低所得者に行ってい  
る。また、所得補償的な手当では国  
の仕事であるので、精神障害者を対  
象とする考えはない。との回答でし  
た。

参加者からは、自立支援医療費は  
あくまで医療であり、福祉ではない。  
身体障がい者と知的障がい者には既  
に支給されている。同じ障がい者で  
あるのに支給されないのはおかしい。  
・障害者差別解消法や障害者差別解  
消条例がすでに制定され、すべての  
障がい者が社会で自由に当たり前に  
生きていく権利を法律・条例で認め  
ている。

・2019年4月現在、中央区、文  
京区、北区、練馬区、足立区、品川  
区、大田区、世田谷区、渋谷区、中  
野区、杉並区、奥多摩町12の区と町

で金額や等級に差はあるものの支給  
されているのに、東京都として支給  
しないのはおかしい。

東京都も支給しない、区や市町村で  
も支給されていない精神障がい者は  
二重の差別を受けるのではないか。

・精神障がい者の地域移行が進めら  
れているが、経済的自立がないと、  
地域で暮らすのは難しい。

・親と暮らしている精神障がい者は  
六割から七割もいるなかで、福祉手  
当の支給は親への依存から、自立へ  
の大きな力になる。

等、切実な意見が出されました。  
今後も私たちは、東京都に対して要  
望をお願いしていきます。

なお、今回は都の回答は例年のごと  
く口頭による回答なので、詳しくは  
報告できません。ご了承ください。



2019年度多摩地域ブロック会議  
及び家族相談員養成講座の報告

都連副会長 中住 孝典

2019年8月31日(土)家族相談員養成講座と第1回の多摩地域ブロック会議が府中ふれあい会館で行われました。

午前の家族相談員養成講座は13単会25名の参加でした。助言者として相談役・羽藤医師が参加されました。今回は初めてグループワークの形式で3事例を3グループに分かれ検討し、その後全体会でそれぞれの報告を行い最後に羽藤医師から助言をもらおうというスタイルでした。事例は①社会的に問題化している8050問題、「ひきこもり」に近い息子との生活で先の見えない将来への不安、今後の対応②「多重債務の当事者への家族の対応」③「暴力を理由に以前の病院からも現在入院中の病院からも転院を迫られているケース」いずれも多くの方々に共通する話題性、困難を伴う内容でした。グループワークに関してはどのグループも活発に論議が交わされ熱気がありました。多くの方から話し合いが深まり意見交換ができて良かったとの声がありました。午後の多摩ブロック会議は19単会、31名が参加されました。都連の報告として①交通運賃割引に関する国会請願が国土交通委員会で採択され、今後の各

交通事業者への働きかけが必要なこと②福祉手当金の区市町村状況③対都要望、政党ヒアリングの報告と今後の対応④国分寺の事件に関する当つくし会としての対応⑤会員増に対する単会への御礼と家族会継承をテーマとした学習会の実施の報告を行いました。その後の協議、意見交換の場でも①福祉手当金の実現に向けた今後の取り組みについては政治状況を見ながら実現可能性を見極め請願を検討することの確認②マル障の拡大適用に向けた今後の運動の確認③家族会継承問題に対する単会の実情や意見④病院家族会との疎通を図るための交流会の提案とそれに向け、参加病院家族会から実情報告を行ってもらったこと⑤各地域における行政機関の家族会や相談に対する協力具合⑥相談支援の力を高めるため家族相談員養成講座の追加希望など多角的に活発な意見が出され凝縮された有意義な交流会となりました。



2019年度第2回多摩ブロック会議予定  
令和2年2月29日(土)午後1時30分  
府中ふれあい会館

「荒川めぐみ会」訪問

都連副会長 轡田 英夫

日時 令和元年7月16日(火)  
午後1時半～4時半  
場所 アゼリア会議室  
訪問者 本田・轡田都連副会長

都電荒川線の熊野前駅を下車するとすぐそばに大きな東京女子医大東医療センターがあります。その裏側に、支援センターアゼリアがあり、荒川めぐみ会が活動の拠点とされているところです。当日の参加者は12人程でしたが、重野会長を中心に良くまとまっていたという感じを受けました。荒川めぐみ会は、昨年創立50周年を迎えたという歴史のある会です。

参加者の話し合いのなかで、肝っ玉おっかさんの話には驚かされました。お子さんが暴れて家具を壊し始めたなら、一緒になってご本人も壊したとの事です。家具はお金で買っても子供の心はお金では買えないという事で、一緒になって壊したという事でした。その後、お子さんの気持ちは落ち着いたそうです。また、参加者に保健師さんや作業所の方も参加されていて、講演会の講師の選定や場所の確保について相談に乗り、行政と一体になって運営しているという感じを受けました。



## 青梅市家族会

「ほっと・スマイル」訪問

都連副会長 本田 道子



「ほっと・スマイル」というネーミングが若々しい感性でなんともすてき、と以前から思っていました。

このステキな感性の皆様とお会いできたのは、7月27日、土曜日の午後。

本格的な夏の暑さが青梅線「河辺」駅のロータリーにもやってくるようになりました。

お迎えの車で「青梅市障がい者サポートセンター」までは10分たらずで到着。

この施設は会議室の提供だけでなく相談事業をはじめ各種サポートの事業も行われており、当日もさまざまな障がいの方々を訪れて交流が行われておりました。

この日の家族会の参加は18名。

近隣の家族会「FHMの会」の方の参加もあり、お互いに交流しましょうということになっていて、これはとてもいいな、と感じたことでした。

中住さんの司会で始まり私からの最近の都連の活動報告を。続いて遠藤さんから青梅市での活動の報告。そのあとは「懇談会」となりました。

青梅の地域性ということでは「交通のこ」と、社会資源としてのグループホームの数の少なさなども話題になりました。

司会の中住さんの適切なアドバイスもありなんとか方向性も見つけられた方もいて一同、安心しました。

「ほっと」できる家族会になっていることを感じてうれしい家族会訪問になりました。

「ほっと・スマイル」の皆様には感謝です。



## 北区飛鳥会訪問

都連理事 川崎 洋子

まだまだ暑い8月31日、本田理事と二人で訪問しました。JR駒込駅から本郷通りを歩き、緑豊かな旧古川庭園をとおりすぎて、15分くらいで会場の滝野川会館に到着です。

今日はいつもの例会ではなく、毎年行っている納涼会です。

会場にはすでに当事者を含め、70名くらいの人たちが集っていました。今回は北区社会福祉協議会から補助金が支給され、それを当事者に当てて、当事者参加を促し、今日は例年より10名近く多く当事者が参加していると会長の後藤さんから説明がありました。

会場後方には飛鳥会が行っている事業所が物品販売を行っていて、にぎやかな声が飛び交っています。

お弁当もお肉たくさん豪華なもので、当事者優先に考えたと後藤さん。いつもは高齢家族用のものにしていきますとの説明でしたが、おいしくてほとんど頂いてしまいました。

最初はビンゴゲーム。70名もいると「リーチ！」「ビンゴー」とあちこちから聞こえ、あっという間に用意された景品はなくなる始末でした。でも、私たちが「リーチ！」「ビンゴー！」と声を出し、景品をゲットしました。

恒例のカラオケ大会が始まりました。この1年に1回の納涼会のみ、お母さんとふたりで参加している当事者がマイクを持ちました。このカラオケが命？と言わんばかりに歌い上げています。時には後藤さんが扇をかざし、雰囲気盛り上げていました。当事者の元気な顔顔がとても印象に残りました。

私事ですが、今日は前に都連理事でいらした森田直子さんにお会いできる楽しみがありました。お互いになつかしさいっぱいでした。まだまだ現役で障害者のために活動していること、時とともに周りが様変わりしていくこと、当事者、家族が元気に明るく過ごせる地域社会づくりのことなど、話は尽きませんでした。

納涼会のカラオケが続いていますが、指名されないうちに帰宅しました。



寄稿

「電車に乗って」

理事 松沢 勝

七月のある午前中の電車の中での出来事。ラッシュアワーが引いた後で立っていても書類が読める時間帯である。家族会会報を読んでいると、後ろから遠慮そうに「失礼ですが家族会のかたですか？」と三〇代前半と思われる女性からである。「そうです、良く判りましたね。どちらの家族会ですか？」「いえ家族会ではありませんが、鹿児島から出て来た看護師です」「エー！会議か何かのご出張ですか？」「仕事探しです」「鹿児島は精神障がいでは先進地域でいつも感心しています」「実は、鹿児島市の精神科病院に勤めていましたが、最近腰を痛めて二ヶ月ばかり休んでいました。治って東京で仕事を探しています。これから池袋のハローワークに行きます」と話が弾んだ。聞いてみると、鹿児島市の人口は六〇万で精神科病院が二〇近くあるが最近経営が苦しい病院が多いこと、仕事の割に給与が低いこともあり、年収で一百万以上差が有る東京、神奈川に魅力を感じて上京してきたとのこと。所得レベルでは鹿児島、宮崎は全国的には最下位に位置しているとのことでした。あつと言つ間に終点に着きました。色々考えさせる出会いでした。



### 講演会のお知らせ

- ☆9/28(土) 14:30~16:30 ひきこもり状態からの回復に向けて  
講師:なでしこクリニック院長 白石 弘己氏 主催:サンクラブ多摩  
☎042-371-3380 会場:二幸産業NSP健福祉センター6階集會室 申込不要
- ☆10/5(土) 14時~16時 地域に根ざす七生病院の今とこれから(仮題)  
講師:七生病院院長 杉山美穂氏他 会場:日野市生活保健センター2階講座室  
主催:日野いずみ会 ☎042-592-8993 申込不要
- ☆10/11(金) 13:30~16:00 内科医が贈る精神疾患へのアドバイス~長年の精神障害者生活支援の活動から~ 講師:内科医 乾達氏 会場:武蔵野三鷹地域センター(旧武蔵野保健所) 申込不要 主催:第二金曜会 ☎090-5496-8709
- ☆10/12(土) 抗精神病薬のタイプと使い方 講師:大泉病院社会医療部長 山澤涼子氏 会場:新宿区立障害者福祉センター 主催:新宿フレンズ ☎03-3987-9788

☆ 賛助会費	☆ (敬称略)
くるみクリニック	5000円
にしの木クリニック	3000円
ちひろメンタルクリニック	5000円
明神下診療所	5000円
宮本 里詩子	2000円

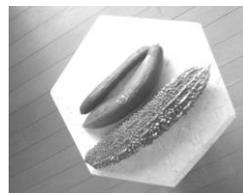
ありがとうございます

※参加申込み・お問合せは、主催者までお願いします。

### 編集後記

猛烈な暑さのこの夏、熱帯夜ならぬ地獄夜の名も飛び交うほどの猛暑続きでした。わが家のプランター野菜もこの暑さに負けることなく成長しました。巨大きゅうりとゴーヤです。(写真:市販のきゅうりをならべて)

スーパーの高値の野菜を横目にわが家では、ゴーヤチャンプル、ゴーヤの天ぷら、ゴーヤソーメン、キュウリの酢の物、漬物と大活躍してくれました。



暑い暑いと言いつつも、夜になると虫の音が聴こえるようになってきました。秋の早く来ることを願いますが、なんとこれからは台風季節! 台風到来は毎年のことですが、このところ雨の多い台風で、災害も発生しています。川の氾濫で多くの家が流されるニュースを見る度、自然の脅威を知らされます。他人ごとではなく、わがこととして、災害に対する準備をしておくことの大切さを感じています。

今年の秋は、大きな災害のない静かな秋を楽しみたいですね。「虫の音を聴きながら、読書の秋」なんて、シツクな秋になるかしら?

都連理事 川崎 洋子

つくしだよりは赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。